

令和 6 年度 くらし部会の活動報告

日 時	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
令和 6 年 5 月 22 日	第 1 回会議	・部会長および副部会長選出 ・前年度の振り返り ・今年度の活動方針の決定 ◇生駒市の障がい者が「生駒市で暮らし続けるため」に、障がい福祉以外の業界・職域(民生委員・住宅関連業種・地域の店舗等)と連携する(方法の検討及び実施)。 ◇地域生活支援拠点等整備事業についての進捗の共有と体制整備に関する意見交換等 ・活動の方向性とスケジュールの検討	自己紹介 ①住まい ②防災 ③居場所 をテーマに各グループに分かれて活動する。
6 月 19 日	第 2 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の企画 ・グループに分かれて活動 ①住まいに関する勉強会(テーマ・対象)について検討 ②いこマイ・タイムラインのアンケート分析、修正 ③今年度の活動について検討。高齢者向け、若者向けの居場所について情報を集める。高齢者向けは既に取り掛かっている。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
7 月 24 日	第 3 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の進捗共有 ・グループに分かれて活動 ①住まいに関する勉強会(テーマ・対象)について検討 ②いこマイ・タイムラインの更なる活用方法について検討 ③見学先について検討	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
8 月 28 日	第 4 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)実施に向けて、当日の役割分担やアンケート内容について検討 ・グループに分かれて活動 ①昨年の勉強会アンケート結果を元に引き続きテーマについて検討。対象は支援者に決まる。 ②いこマイ・タイムラインの使い方動画を作成することに決まる。年度内配信を目指す。 ③見学先について検討	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所

8 月 30 日	いこまつながろ会(支援者交流会)	【いこまつながろ会】を実施 グループワークをとおして日ごろの実践のなかで 感じている悩みや困りごとを話し合い、顔の見える 関係性を築く機会となった。	対象:市内にある成人期 の日中通所支援をおこ なう障害福祉サービス 事業所職員 参加者:14 名
9 月 25 日	第 5 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の振り返りと今後 の活動について検討 ・グループに分かれて活動 ①勉強会について検討、開催は 2 月予定。 ②使い方動画の内容について検討 ③見学先について検討	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
10 月 23 日	第 6 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)のアンケート結果 の周知について検討 ・グループに分かれて活動 ①勉強会について検討、テーマはグループホームに 決定。 ②使い方動画のナレーション原稿案を作成 ③来月の和草大人のフリースクール見学に向けて、 質問内容等を打ち合わせ。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
11 月 11 日	居場所 WG	和草見学	WG メンバー4名
11 月 27 日	第 7 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の今後の活動に ついて検討。次年度は 3 回開催することに決定。 ・グループに分かれて活動 ①勉強会について検討。 3/1 実施に変更。 内容はグループホームの事業所紹介と支援に関 する情報交換に設定。 ②使い方動画のナレーション原稿を修正 ③見学(和草)の振り返り。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所

12月25日	第8回会議	・進捗共有 ・グループホームに分かれて活動 ①勉強会について検討。案内配信先等を確認。 ②使い方動画案を部会メンバーで視聴。出た意見を参考に、修正点を確認。 ③見学(和草)内容を部会メンバーへ報告。 来月、ごっちゃ☆ばあを見学予定。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
令和7年 1月22日	第9回会議	・進捗共有 ・グループホームに分かれて活動 ①勉強会について検討。最終確認。 ②使い方動画を修正。一部分は再度動画を取り直す。 ③ごっちゃ☆ばあを見学	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
2月26日	第10回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の今後の活動について検討。 ①勉強会について申込状況等、進捗確認。 ②使い方動画完成。年度内に市のYouTubeにアップ予定。次年度の活動についても検討。 ③次年度の活動について検討。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
3月26日	第11回会議	・日中サービス支援型共同生活援助の報告、評価 ・次年度の部会活動について検討 ・いこマイ・タイムラインの使い方動画は、庁内組織改編による他課名称変更があることから、来年度4月以降に配信予定。	意見交換

■いこまつながろ会(支援者交流会)

・年度当初、日中活動の事業所が協議する場の必要性について部会員より議題があがり、専門部会としての位置づけが必要かどうかも含めて、今後 2 年間で検討していくこととなった。

支援者同士の顔の見える関係性の構築、ひとり職場の支援者が事業所内で相談できる環境にないことでの孤立を防ぐ、支援の質の向上をめざす、等の目的を設定し、今年度は支援者交流会を 1 回実施。参加者 14 名、アンケート回収 13 通のうち、顔の見える関係性を築くきっかけになったと回答した方は 13 名、日ごろの実践のなかで感じている悩みや困りごとをかなすことができたと回答した方は 9 名で、参加者がつながりを求め、交流や情報交換の場となったことがわかった。

・次年度は年 3 回実施、必要性や実現の形について結論を出すため引き続き検討をしていく。

■「住まい」に関するワーキング

・昨年度実施した「住まいに関する勉強会」アンケート結果をもとに、今年度はグループホームの暮らしや支援について知る機会となるよう勉強会を実施。支援者を対象に、市内でグループホームを運営している 2 事業所の実践発表とグループワークでの情報交換を企画した。

参加者 36 名、特別支援学校教員の参加もあり、進路を考える際にも「住まい」は大きな関心事であることがわかった。グループホームは、さまざまな住まいの形の中のひとつではあるが、地域の資源について支援者が正しい理解をすることは障害のある方が住まいを選択する際にも重要な役割を担うため、次年度も住まいに関する勉強会を継続して企画実施していく。

■「防災」に関するワーキング

・昨年度は、水害・土砂災害時に焦点を当て、急な判断が迫られる災害時に自分自身の命を守る避難行動の一助となる、障がいのある方向けの生駒市版「マイ・タイムライン」である「いこマイ・タイムライン」の作成に取り組んだ。今年度は、「いこマイ・タイムライン」の更なる活用のために、使い方動画を作成した。使い方動画は、危機管理課にも内容確認の上、令和 7 年 3 月に完成。庁内の組織改編に伴う他課名称変更があることから、市 YouTube には令和 7 年 4 月に公開。使い方動画の QR コードは、「いこマイ・タイムライン」の原本にも挿入。

↓使い方動画はこちら



■「居場所」に関するワーキング

・多様な居場所が増えてきているが、実際の支援の場で具体的なイメージをもって居場所に繋ぐ支援を実践できるよう、当事者や支援者向けの居場所のマッチングを目指す方向で活動中。

・前段階として、ワーキングのメンバーで地域の居場所の見学を実施。令和 6 年度は、和草が実施している道草農園(大人のフリースクール)と社会福祉協議会が実施しているごっちゃ☆ばあを見学した。

・次年度は、高齢者支援の居場所の見学やニーズの聞き取りをしながら、参加する側、サポートする側など、様々な形で地域の居場所に繋がれる方法を探り、具体的なマッチングに向けた主に支援者向けの活動の展開を目指す。

■その他参考

・地域生活支援拠点等事業所連絡会(3 回実施)

今年度は、地域生活支援拠点事業所(ラベンダー・つるくさ)、生活支援センターコスモールいこまと連絡会を行い、事業実績報告と、精神障がいのある方のひとり暮らし体験の実施に向けた具体的な課題整理を行った。次年度から実施を開始する。

令和6年度　くらし部会

【構成メンバー表】

法　人　名	所　属　等	人数
(社福) あけび	生活支援センターあけび	1人
(社福) いこま福祉会	生活支援センターかざぐるま	1人
(社福) 萌	生活支援センターコスモールいこま	1人
(社福) 宝山寺福祉事業団	発達障害支援センターでいあー	2人
奈良西養護学校	進路指導部	1人
(社福) 萌	ひだまり	1人
(社福) ぷろぼの	ぷろぼの生駒事業所	1人
(社福) いこま福祉会	グループホームラベンダー	1人
(社福) 青葉仁会	青葉仁会生駒事業所	1人
(一社) イーデンホール	P a s s o	1人